

2024年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
東京法律公務員専門学校杉並校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和5年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 2024年度 学校関係者評価委員会

<委員> (五十音順)

委員長 井野崎徹也氏 立志舎高等学校 教頭
及川 薫氏 防衛省自衛隊 東京地方協力本部 高円寺募集案内所 所長
岡島 勇太氏 アディーレ法律事務所宇都宮支店 支店長 弁護士
木寺 諒磨氏 株式会社リロググループ 人材開発室 人財採用グループ
中本 正幸氏 株式会社新聞ダイジェスト社 代表取締役
山田 悠稀氏 横浜市役所 横浜市こども青少年局 青少年部 放課後児童育成課

<事務局>

豊 重 一 成 東京法律公務員専門学校杉並校 校長
新 井 潤 東京法律公務員専門学校杉並校 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
ロ. 学校における職業教育の特色は何か(特色は設けているか?)	④ 3 2 1
ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知 されているか	④ 3 2 1
ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向 けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

開学以来、「ゼミ学習」という本学独自の教育システムを導入したことにより、明るく楽しい学園生

活と公務員合格実績と民間企業就職実績が両立している。また「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として教職員一丸となって取り組んでいる。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(1). 教育理念・目標について「適切」であると評価できる。

「自衛隊の仕事について知ってもらう機会を授業として設けてもらっている。自衛隊のみならず、警察や消防、公務員についても同じであると思うが、職業理解のための職場体験などの授業を実施し、学生が公務員の仕事に興味をもってもらえるような機会を提供していることはとてもよい取り組みであると考え。」

(2). 学校運営

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1
ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

本学独自の教育システムである「ゼミ学習」を通じて、資格取得、就職および明るく楽しいキャンパスライフの三本柱を追求することにより「学生から信頼され支持される学園づくり」が実現すると考えている。

情報システムについては、学務システム（入試システムおよび学籍管理システム）、経理システムを個々に運用し、インボイス制度に対応している。就職部は求人情報と学生情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。在学生への求人情報の提供、学校が取りまとめる求人への申込をオンライン化し、「民間就職支援ポータルサイト」として運用している。また、学務システムは、仮想プライベートネットワーク（VPN網）を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。また、全教職員にパソコンを貸与し、業務改善に取り組んでいる。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(2). 学校運営について「適切」であると評価できる。

「学生から信頼させ支持される学校づくりという基本目標に基づいて、日々教職員が努力、徹底していることが見て取れる。それは、忙しいなかでもこうした学校関係者評価委員会を開催するなど、よりよい学校づくりに前向きに取り組んでいる様子からもうかがえる。地道な努力の積み重ねこそが、学校をさらなる高みに持っていくことができる方策であると考え。」

(3). 教育活動

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
ホ. 授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
ヘ. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
ト. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
チ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
リ. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

「ゼミ学習」は知識をより確実にするばかりでなく、積極性、協調性、表現力、コミュニケーション力などの人間性をも涵養している。教育課程編成委員会を年2回開催し、外部委員の意見を参考に、カリキュラムに反映させている。また、授業運営の適否を判断するために、学生による授業評価アンケートを実施して、授業システム見直しのための資料として活用している。職業実践専門課程の認定を受け、企業、官公庁等と連携した実践的な演習を行っている。令和元年度よりGPA算定をするため、システムを改修し導入した。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(3). 教育活動について「適切」であると評価できる。

「官公庁説明会が実施された日に伺った際に出会った学生の服装や挨拶がしっかりしており、先生方の日ごろの指導がしっかり行き届いていると感じた。それゆえ、教員の学生指導力は問題なく十分なものであると評価できる。」

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
ロ. 資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
ハ. 退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

例年、新入生就職セミナーをはじめ進路決定ガイダンス、官公庁説明会や学内就職セミナーを行っている。

学科・コースごとに目標とする試験を明確にして過去の経験に基づき綿密なカリキュラムを組み立てゼミ学習で授業を進めている。その結果が成果となりあらわれている。また、学園内各校と定期的に合格率向上を図るための会議を開いている。

退学者を出さないように常に担任が学生に声をかけるようにしている。各クラスで毎日「日常コミュニケーションチェック表」を記入し、学生の変化を確認している。また、ゼミ学習を通し友人を作れるように気を配っている。担任以外にも相談できるように学生相談室を設置している。匿名での電話でも相談できるようにしている。無断欠席の学生には担任から電話連絡し長期欠席の学生が出ないように努めている。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(4). 学修成果について「適切」であると評価できる。

(1)法律学科について

「各種国家公務員試験や地方公務員試験に合格していて、いろいろな省庁に就職していることはすばらしいことだと思う。また、就職率100%を達成していることも評価できる。」

「1年制コース、2年制コースともに就職率がとても高いところが評価できる。また、各種検定試験の合格率も高く、その点においてもすばらしい成果をあげているといえる。」

(2)行政学科・法律研究学科について

「100%の就職率を達成できている実績は素晴らしいことだと思う。また、就職先も法務省をはじめとする官公庁に就職できており、これは普通では難しいことと思われるので、評価できる。実際に4年制大学よりも短い期間でこうした結果を出せているということは、密度の濃い指導がなされていると考えられ、この点においても評価できる。」

(3)学修成果全般について

「就職率の向上と資格取得率の向上が資料から見て取ることができ、いずれについても成果が出ており、就職率、資格取得率の向上は常に図られているといえる。退学率の低減については、難しい問題であると感じている。日ごろから確認することはもちろんであるが、相談室や担任以外でも、たとえばスクールカウンセラーを置くことなどして対応をしてもよいのではないかと思う。高校で専門的なスクールカウンセラーを置いたところ、退学率の低減の成果が出始めているので、専門学校でも検討してみたらよいのではないかと思う。」

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
ト. 保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

今年度より民間就職支援ポータルサイトを立ち上げ、求人票のリアルタイムの閲覧、エントリーの一元化、就職部と学生の連絡手段の新設により学生が就職活動をスムーズに行えるようにした。

保護者からの相談はクラス担任だけでなく、学生相談室や就職相談室も利用できるようになっている。学生相談室は匿名での電話相談にも応じている。

本学の特別奨学生試験や各種特待生制度は、貸与ではなく給付である。令和2年度よりスタートした高等教育の修学支援新制度対象校として東京都により確認された。引き続き令和6年度も確認校となる。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(5). 学生支援について「適切」であると評価できる。

「経済格差が叫ばれている昨今において、特別奨学生試験などの支援体制が設けられており、経済的支援をしっかりと行っているということがみてとれる。学生にとっては、心強いのではないかと思われる。」

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1
ロ. 防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

危機管理マニュアルを法令にしたがって見直していく必要がある。

② 今後の改善方策

危機管理マニュアルを法令にしたがって見直す。

③ 特記事項

ロビー、実習室、教室など校舎全体でWi-Fiが使える環境が整っている。

防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。また、自衛消防隊を組織している。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(6). 教育環境について「適切」であると評価できる。

「PCとかの環境については金銭的な問題もあり難しいとは思いますが、電子黒板などすごく整備されてきていいものが出てきているので、そういうことも含めて検討してもよいのではないかと感じた。防災・防火についても、職員が徹底してもらい、学生の命を守るというのが一番であるから、今後も検討をしていってもらえればと思う。」

(7). 学生の受け入れ募集

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
ハ. 学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

公務員合格者一覧・民間就職一覧においては信憑性を確保するために本人の了承を得て採用試験名または企業名・氏名・出身校名を載せており、志望者や保護者の方の判断にも役立つ内容となっている。本学のホームページは、スマートフォンにも対応しているので簡単に情報が入手できる。また、LINE、X（旧：Twitter）、Facebook、YouTube、Instagramを利用した情報提供を行っている。

民間就職については正社員採用であることにこだわって就職指導している。入学者に対するアンケートを実施し、その結果、卒業生の活躍が入学にあたりとても参考になったという意見が多かった。

法人単位での財務情報の公開体制を採っており、学納金が適正かつ公正に使用されていることを明らかにしている。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(7). 学生の受け入れ募集について「適切」であると評価できる。

「特記事項にあるようにSNSやホームページを活用した学生募集を展開しているようであるが、今年もあったが、入隊した卒業生が宣誓している写真であるとか、活躍している姿を写した写真を掲載したり、実際に就職した卒業生を呼んで体験談を話してもらおうなどの機会を設けるなどの取り組みを充実させてPRしたらよいのではないかと考える。」

(8). 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし。

② 今後の改善方策

特になし。

③ 特記事項

少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(8). 財務について「適切」であると評価できる。

「やはり少子化はとどまることがないので、なかなか安定というのは難しいところだと思うが、続けて努力をしてもらえればと思う。ホームページで財務状況を公開しているということで、体制整備もしっかりできていると思われる。」

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④ 3 2 1
ニ. 自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

法令遵守推進管理者を置き、法令遵守の推進を図っている。また、例年外部講師を招いて人権研修を実施している。今年度も2月にオンラインで研修を受講する予定である。定期的に情報セキュリティ研修を実施する必要がある。

学生の個人情報を利用する場合には、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た上で個人情報を取り扱っている。また、平成30年12月に情報セキュリティ研修を実施した。

自己点検・自己評価については、学校関係者評価委員会で報告し評価をいただき、その結果をホームページ上で公開している。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(9). 法令等の遵守について「適切」であると評価できる。

「特記事項で定期的に情報セキュリティ研修実施の必要性が述べられており、課題としてとらえられていると思っている。勤務している横浜市でも定期的にセキュリティに関する研修を実施している。毎月すべての職員を対象として10～15分程度の時間で、横浜市だけでなく他市の事例も取り上げてリスクについて周知している。また、年に一度1時間程度の情報セキュリティについて、リスクなどに関して全職員を対象に研修を行っている。継続していくことは難しいことではあるが、定期的にそして継続的に情報セキュリティに関する研修を行っていくとよいと思われる。」

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

① 課題

地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を実施していく必要がある。

② 今後の改善方策

地域社会への貢献として捉え、学生の参加、協力も積極的に考慮していく。

③ 特記事項

地域との連携、交流、諸外国の学校などとの連携、社会問題についての啓蒙などが社会貢献となり、また学校の発展につながるという観点で、毎年杉並消防署が実施する、「自衛消防訓練審査会」に教職員が参加している。また、地元商店街が主催する「高円寺フェス」には学生応援団、ブラスバンドが参加するなど、地域活性化に協力している。今年度は、新型コロナの影響により「自衛消防訓練審査会」は中止となり、「高円寺フェス」は規模を縮小して実施となった。またクールビズや、ゴミの分別処理の徹底など、学校全体で省エネ、エコ活動の取り組みなどを行っている。

学生のボランティア活動を奨励、支援し、その活動状況を把握し評価している。学生の校舎外の近隣清掃は、近隣住民より評価を得ている。

④ 学校関係者評価委員会による評価・意見

(10). 社会貢献・地域貢献について「適切」であると評価できる。

「職場で地域の町内会の方々と関わる機会が多くあり、学生を含めた若い人が地域主催のイベント等に参加してもらい、運営にかかわってもらえることを皆さんが要望していると感じる。若い人が参加するかしないかでイベントの活気がまったく異なるということなので、そのような点を考慮すれば、学生がお祭りなどの地域のイベントに参加していることから評価はもっと高くしてもよいのではないかと考える。地域で開催されるイベントには、学生が参加してもらえようようにしてもらえると地域の人たちも喜ぶと思うので、引き続き協力していただきたいと思います。」